

政策番号	19	政策分野	生涯学習
------	----	------	------

基本方針	「豊かな人生は学びとともにある」という観点から、京都ならではの「地域力」，「文化力」，「人間力」を結集し，まち全体を学びの場とすることで，子ども・若者から高齢者まであらゆる世代の市民だれもが学ぶ喜びを実感し，みずからを磨き高めて，社会を創造していけるまちづくりを進める。 また，次代を担う子どもたちを市民ぐるみで健やかに育むために，「子どもを共に育む京都市民憲章」の実践に向けた取組を市民ぐるみで推進する。
------	--

担当局	教育委員会	共管局	子ども若者はぐくみ局
-----	-------	-----	------------

政策に関する 主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン
--------------------	-----------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成 29	平成 30	令和元年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	京都のまち全体で創りだされる生涯学習情報（講座・イベント等）の数（企画）	2,290	3,000	a	a	6,079	6,709	2,800	239.6%	a
2	京都市図書館入館者数（万人）	431.5	431.5	a	b	412.1	410.8	426.8	96.3%	b
				a	a					a

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成29	平成30	令和元
1901	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充（2指標）	a	a	b
1902	学びが社会に還元されるしくみづくり（1指標）	a	a	a
1903	子どもを共に育む気運づくり（2指標）	a	b	b
（3施策平均）		a	a	a

政策の客観指標総合評価 （政策の客観指標評価：施策の客観指標評価＝1：0.5）	平成29	平成30	令和元
	a	a	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		平成29	平成30	令和元
1	京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。	a	a	a
2	生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。	c	c	c
3	地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	c	c	c
4	子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	c	c	c
政策の市民生活実感調査総合評価		b	b	b

2-2 政策の重要度（27政策における市民の重要度）

平成29年度		平成30年度		令和元年度	
順位	%	順位	%	順位	%
16	81.1%	15	82.4%	16	80.1%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
【客観指標総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		平成30年度	B
【市民生活実感調査総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		平成29年度	B
【総括】 ・客観指標評価では、概ね目標を達成し、高い評価を得ている。また、市民生活実感調査においても、肯定的な評価を得ている。総合的に勘案し、この政策の目標は十分に達成されていると評価できる。			

今後の方向性の検討

＜この政策を構成する施策とその総合評価（客観指標評価＋市民生活実感評価）＞

施策番号	施策名	総合評価		
		平成29	平成30	令和元
1901	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充	A	A	A
1902	学びが社会に還元されるしくみづくり	B	B	B
1903	子どもを共に育む気運づくり	B	C	C

＜今後の方向性＞

①市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充

・生涯学習の情報検索サイトのコンテンツ充実、FacebookやTwitterといったSNSの活用による情報発信、博物館や大学等と連携した多様な学習環境機会の提供・充実などにより、誰もが学び続けられる環境づくりを推進する。

・京都市図書館については、高校生の読書活動支援、子どもの本コンシェルジュ養成講座の実施などにより、第4次子ども読書活動推進計画に基づく取組を推進するとともに、レファレンス機能の拡充等に取り組み、より一層の利便性の向上を図る。

②学びが社会に還元されるしくみづくり

・京都市博物館施設連絡協議会等と連携し、ボランティア養成講座の実施や加盟館における継続的なボランティアの活用を依頼することにより、ボランティア活動の機会拡充を図る。

・生涯学習の場所・機会・人材のネットワークづくり、市民の多様な学習活動の支援、地域・学校運営協議会・PTA等が連携した地域コミュニティづくりなどを推進する。

③子どもを共に育む気運づくり

・子どもを社会全体で育むことを目的とした「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」（平成23年4月施行）に基づく取組を一層推進し、市民憲章の周知を更に徹底するとともに、京都はぐくみネットワークの活動を通じて各分野で実践行動を一層広げ、市民・地域ぐるみで子育てを支え合い、子どもたちを健やかで心豊かに育むまちづくりを進める。

政策名	19	生涯学習					
指標名	京都のまち全体で創りだされる生涯学習情報（講座・イベント等）の数（企画）						
担当部室	生涯学習部	連絡先	2 5 1 - 0 4 1 0				
1 指標の説明							
京都市のホームページ上で公開されている、「京まなびネット」「みやこ子ども土曜塾」等において登録されている講座・イベント等の情報数（企画数）							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
京都のまち全体が学びの場となることをめざして、その進捗状況を示す指標		出典：事業担当課調べ					
4 数値							
10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠				
	2,290	3,000	平成21年度実績1,986の約1.5倍				
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	単年度目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	6,079	6,709	630企画増	2,800	令和2年度目標値を段階的に達成していくために、当年度に達成すべき数値	239.6%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準				6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満				100%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。		平成29 平成30 令和元	
						a a a	

指標名	京都市図書館入館者数（万人）						
担当部室	生涯学習部	連絡先	8 0 1 - 8 8 2 2				
1 指標の説明							
京都市立図書館の利用者数							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
京都のまち全体が学びの場となることをめざして、市民に最も身近な学びの拠点である図書館の活用状況を示す指標		算出方法：京都市立図書館20館での利用者数の合計 出典：事業担当課調べ					
4 数値							
10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠				
	431.5	431.5	京プラン実施計画 第2ステージ				
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	単年度目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	412.1	410.8	1.3万人減	426.8	令和2年度目標値を段階的に達成していくために、当年度に達成すべき数値	96.3%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準				6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満				100%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。		平成29 平成30 令和元	
						a b b	